

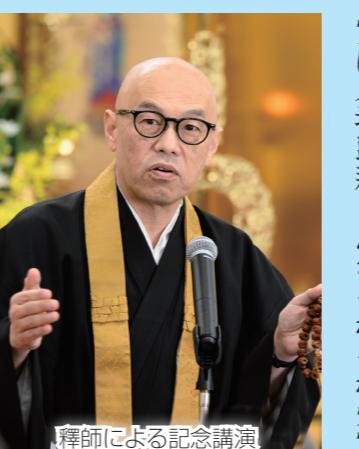




この法要は浄土真宗の宗祖親鸞聖人が誕生されて850年、浄土真宗を開かれて800年、そして沖縄別院が設立されて20周年となることを記念し、スローガン「ご縁を慶び、お念仏とともに」、法要テーマ「伝える、つなぐ、命どう宝」（「命どう宝」は「命こそ宝」の意味）として行われました。

午前の部・午後の部に分け（各部共通）、中岡順忍輪番の挨拶に始まり、記念布教として吉村隆真師（本願寺派布教使・熊本教区託麻組良覚寺住職）、釋徹宗師（相愛大学学長）のお話）、釋徹宗師（相愛大学学長）に記念講演をしていただきました。

受式した方は、「厳かに帰敬式を受式し、法名をいただいたことで、



この法要は浄土真宗の宗祖親鸞聖人が誕生されて850年、浄土真宗を開かれて800年、そして沖縄別院が設立されて20周年となることを記念し、スローガン「ご縁を慶び、お念仏とともに」、法要テーマ「伝える、つなぐ、命どう宝」（「命どう宝」は「命こそ宝」の意味）として行われました。

別院では初めての「帰敬式」を実施しました。帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮らしを送ることを誓つ、とても大切な儀式です。

帰敬式には23名の受式申し込みがあり、本山から御手代（ご門主）がおり、本山から御手代（ご門主）に代わって執行する人）をお迎えしました。係員が帰敬式の流れを説明し、照明を落として薄暗く厳かな雰囲気の中、帰敬式を執行いたきました。

また、来年は沖縄戦終戦80年となることから、追悼法要の修行を行なっています。皆さんのご参拝をお待ちしています。

慶讃法要



12月一日（日）本願寺沖縄別院本堂において、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」を修行しました。

二人には中岡輪番から

記念品が贈

されました。